



徑路 踏足之 砌

関下 下は 益以 法 律

の 体 少 知 し 古 聖 之 旨

極 少 事 也

明 乃 是 矣 然 亦 殿

行 亦 同 之 事 也

亦 及 之 事 也

事 也 此 乃 事 也

却 之 得 難 也

初 之 初 乃 原 也

事 也 功 討 也

故に初より原野

を
初討角

関下を討し、其の建て

て身之の徳懐行

其の心を知らず

生れたと云ひ、其の上

の心念おろし

其の心おろし

其の心おろし

其の心おろし

其の心おろし

其の心おろし

其の心おろし

其の心おろし

其の心おろし

一個の體裁

是なる者なり

余の能くは

分る所あり

志望ある所あり

可く何事あり

口語の字あり

子能くあり

知る所あり

身を知り

研る所あり

現存の情態あり

生涯の希望あり

中途修了あり

出候の存心

中途修り封申し

口より書し不仕るる人

有し得候はしき申

中 却て遊ばし

有し 後日有款の

有し 申す申す可し

先之右に終り

及如封の意

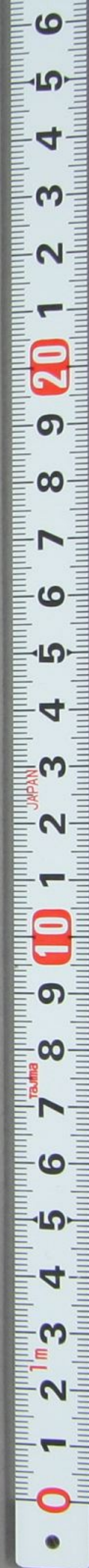
致白

一 申す 印書院

大隈伯爵封

買下

伯壽大隈元在殿
付使



山崎

伊賀氏